



“ありがとう” に接して

医事企画情報室長
南 波

令和4年8月3日から9月22日までの間、新潟薬科大学の学生さんをボランティアとしてお受けしました。午前は受付回りの補助として、午後はコロナワクチン接種の受付や誘導などに加わって頂きました。

毎日1つのポジションを2名ずつ2日間参加頂くことで、申し送り側と送られ側の役割をつくり、その日の反省を踏まえて上手に業務引継を行っていることに感心しました。今後の皆様のご活躍を心より期待申し上げます。



参加してくれた学生さんたちからのレポートをご紹介します。
参加していただいた学生皆様へ「ありがとう」の言葉を添えて…。

レポート抜粋

腰痛がひどく、杖をついた方に受付の場所が分からないと言われ、一緒に歩きながら受付まで案内する場面があった。患者さんの歩くスピードはゆっくりだったため、患者さんのペースに合わせて、何気ない会話をしながら歩いていった。案内をし終わると、「ご丁寧にありがとうね」と笑顔で言ってくださり、とてもうれしかったため、この出来事は特に印象に残り、またとてもやりがいを感じた。

足が痛いという方に、予め決められた席ではないが楽に座れる座席に案内することができた。初めは書類を受け取る際の上手な声かけが分からず口ごもってしまったが、職員の方の言葉遣いを観察して自分で積極的に使えるようになった。